

日経平均株価 史上最高値更新について

一般社団法人 関西経済同友会
代表 幹事 角元 敬治

- 本日、約34年ぶりに日経平均株価の終値が史上最高値を更新した。
- これは、企業努力はもとより、世界的なインフレや円安も追い風として堅調な業績を収める日本企業に対する期待感の表れだと受け止めている。また、中国経済の減速懸念や経済安全保障を背景に、中国に投資されてきた資金の一部が日本に流入し始めたことも影響していると考えられる。
- わが国が目指すのは、実体経済の低成長からの脱却と、サステナブルな社会の実現である。企業経営者は、株価の動向に一喜一憂することなく、生産性向上に向けた「人への投資」とDX・GX等の投資を果敢に行い、高付加価値型の事業構造への変革を通じた企業価値の向上に引き続き邁進すべきである。
- また、日本社会がより力強く活気を取り戻すためには、わが国経済の好転や日本に対する期待感の高まりを、広く国民が実感できる環境づくりが必要である。そのためにも政府には、賃上げのモメンタムを後押しする政策や、新NISAの利用浸透をはじめとした国民の金融資産所得向上に向けた取り組みの強力な推進を求めたい。

以 上